ウイルスより怖いのは？

感染拡大防止のために

エッセンシャルワーカー（生活必須職従事者）の新型コロナウイルス感染が世界的に問題になっています。在宅勤務ができず、不特定多数の人と接触するため、自ずと感染リスクも高まります。ニューヨークでは地下鉄職員約１９００人が感染し、約５０人が死亡したそうです。

ＪＲ九州でも在宅勤務や休業といったこれまでに無かったような制度が新設されていますが、エッセンシャルワーカーとして通常通り業務をこなしている社員も多く、感染対策も十分とは思えません。

例えば感染拡大の原因となる密閉、密集、密接の「３密」を避けるため喫煙室の使用を禁止しているような箇所では、その空間が失われたために休憩室側が「３密」状態になるといった、本末転倒な状況も発生しています。乗務員においては休日の列車減便が休憩時間の増加につながり、詰所の利用者が増え、こちらも３密化に繋がっています。新設された有給休暇等についても、職場によっては要員の関係で誰も取得できないなど、会社主導の対策が現場の状況改善に繋がっていないケースが多々見られます。

こういった感染リスクの高い現場の状況を会社に認識してもらい、できる限り安心して働けるよう労働環境改善を訴えることが何より重要です。

骨折り損のくたびれもうけ

４月には乗務員の予備勤務者を無人駅に派遣しました。「収入が減っているから、サービス向上も兼ねて」という指示でしたが、不要不急の外出自粛がこれだけ叫ばれている中で、わざわざ無人駅に向けて社員を「外出」させるなど、狂気の沙汰としか思えません。そもそも無人化がサービス低下につながっていると自覚している事にも閉口してしまいます。

また、感染リスクを冒し、不安を抱えて出勤している社員がいるにもかかわらず、会社は年度初から早々に人件費削減に言及しています。ハイリスクローリターンです。私はおかしいと思います。皆さんはどうでしょうか？

NRU

若い力

第１３４号
２０２０年　５月１日
発責　国労九州本部

博多区博多駅東３丁目９番３号
ニッコーハイツ１００３号
ＪＲ　０９２−２０７５
ＮＴＴ０９２−４８３−１５１５